

競技注意事項

1. 競技会について

2024年度日本陸上競技連盟競技規則と競技注意事項、申し合わせ事項により実施する。
ただし、抗議については、WA Competition & Technical Rules を適用する。

2. 招集について

1) トラック競技の招集は、招集所で行う。

招集所は、第2曲走路北側の人工芝エリアに設置する。

競技者は、下表の時間帯で招集を受けた後に、競技場所に向かうこと。

代理人による招集は認めない。

なお、種目ごとの時間の詳細は、競技日程にて示す。

200m	9:20~9:50 (男女共通)
上記以外の種目	競技開始時刻の <u>40分前から20分前</u> まで

2) フィールド競技の招集は、各競技場所で行う。

競技者は、下表の時間帯で競技場所に集合し、招集を受ける。

なお、種目ごとの時間の詳細は、競技日程にて示す。

棒高跳	競技開始の 70分前から 50分前
上記以外の種目	競技開始の 60分前から 40分前

3) トラック競技は、800m以上の距離の種目で腰ナンバー標識を使用する。

腰ナンバー標識は招集所で配布する。

競技者は、腰ナンバー標識の数字が審判員から見える状態で、右の腰に着けること。

レース後は係員の指示に従い、すみやかに返却する。

4) 混成競技は各日最初の種目に限り、上記1)、2)に準じ、招集を受ける。

ただし、十種競技 1500m と七種競技 800m は、特別アスリートビブスならびに腰ナンバー標識が必要となるため、番組編成発表後、招集所で受け取り、競技場所へ移動すること。

5) 招集に遅れた者は棄権とみなし、出場を認めない。

3. アスリートビブスについて

主催者ではアスリートビブスは用意しない（混成競技を除く）。

競技者本人が用意した登録番号のアスリートビブス 2枚を胸部と背部につけること。

ただし、跳躍種目に出場するときは、どちらか一方でもよい。

4. 競技について

1) 競技用具は、棒高跳用ポールを除き、すべて主催者が用意したものを使用する。

ただし、投てき物については、検定を済ませたものに限り、個人所有のものを使用できる。

検定は主催者に申し出た上で、競技開始時刻の1時間前までに済ませること。

2) トラック競技の組分けは、すべて記録順とする。

3) トラック競技の 100m、110mH、100mH は、気象状況により、逆走（バックストレート側）で実施する。

4) トラック競技の 200m は、招集後に番組編成を実施する。

編成結果は、競技開始時刻の15分前までに、速報サイトにて発表する。

競技者は、招集を受けた後、競技場所へ向かい、競技開始までに各自で確認すること。

5) 投てき種目は、トップ8で行う後半3回の試技順を、当初のスタートリスト順とする場合がある。

6) 高さの跳躍に関するバーの上げ方

男子走高跳 (1m50、1m90) 1m50-1m55-1m60-1m65-1m70-1m75-1m80-1m85-1m90-1m95-1m98

以後 3cm ずつ

男子棒高跳 (4m20、4m80) 4m00-4m20-4m40-4m60-4m80-4m90-5m00-5m05 以後 5cm ずつ

女子走高跳 (1m20、1m40) 1m20-1m25-1m30-1m35-1m38 以後 3cm ずつ

女子棒高跳 (3m40、3m70) 3m40-3m50-3m60-3m70-3m75 以後 5cm ずつ

十種 走高跳 1組 (1m80、1m90) 開始の高さ：1m75 バーの上げ方：一律に 3cm

十種 走高跳 2組 (1m60、1m80) 開始の高さ：1m60 バーの上げ方：一律に 3cm

十種 棒高跳 1組 (4m30、4m00) 開始の高さ：4m40 バーの上げ方：一律に 10cm

十種 棒高跳 2組 (3m80、4m10) 開始の高さ：4m00 バーの上げ方：一律に 10cm

七種 走高跳 1組 (1m40、1m55) 開始の高さ：1m40 バーの上げ方：一律に 3cm

七種 走高跳 2組 (1m40、1m55) 開始の高さ：1m40 バーの上げ方：一律に 3cm

※条件により審判長の判断で始まりの高さ等を変更する場合がある。

※ () 内は練習の高さ

7) 本大会では、TR4.4 は適用しない。

5. 練習と練習場について

練習場は、陸上競技場内とする。

駐車場や、その他、室内競技場を含む大学敷地内での練習は、危険を伴うため、禁止する。

競技役員の指示があった場合は従うこと。

なお、トラック競技の一部は下記のとおり制限する。

1) 第1日目の直線のトラック競技

競技実施場所とは逆のストレート部分の 3~6 レーン に、練習用のスターティングブロックを設置する。

ハードル種目は、同様の 7 レーンに女子、8 レーンに男子、それぞれハードル 3 台程度を並べる。

なお、100m のスタート前は、各組、1 人 1 回限り、20m 程度の足合わせを許可する。

2) 第2日目の直線のトラック競技

競技実施場所での練習を許可する。

申し合わせ事項

1. 新型コロナウイルス、季節性インフルエンザ等の感染症への対応について

- 1) 検温、手洗い、うがい、換気等、基本的な感染防止対策を徹底すること。
- 2) マスクの着用は、個人の判断とする。

2. 待機場所について

【第1日目】

待機場所は、陸上競技場内、第2曲走路北側の人工芝エリアとする。

競技の妨げ、通行の妨げにならない範囲で、テントの設営も許可する。

上記を除く大学施設（室内競技場を含む）、校舎周辺、大学敷地内の通路、駐車場等を待機場所として使用することはできない。

ただし、混成競技者は、室内直走路を控えエリアとする。

【第2日目】

待機場所は、陸上競技場内、6号館「多目的室2」とする。

競技の妨げ、通行の妨げにならない範囲で、テントの設営も許可する。

上記を除く大学施設（室内競技場を含む）、校舎周辺、大学敷地内の通路、駐車場等を待機場所として使用することはできない。

ただし、混成競技者は、室内直走路を控えエリアとする。

3. 施設の立ち入りについて

待機場所を除き、大学の屋内施設ならびに周辺は立ち入り禁止とする。ただし、「セブンイレブン NBS 中京大学豊田キャンパス店」は利用可能とする。

4. 撮影について

撮影許可に関する審査はしないが、節度ある範囲で撮影をすること。

迷惑撮影が疑われる場合は、主催者が撮影内容を確認する等の措置をとる。

また、SNS等への投稿には、細心の注意を払うこと。

5. 応援について

競技場の周辺（トラックの外側）で行う。

フィールド内からの応援は禁止する。

6. 記録の発表について

記録の発表（速報）は下記Webサイトにて行い、場内での掲示はしない。

<http://chukyo101.html.xdomain.jp/nans21v/shtml/TimeTable.html>

なお、正式リザルトは、競技会終了後に各団体に連絡する。

7. ゴミについて

競技場内に持ち込んだ飲食物等のゴミは、すべて各自で持ち帰ること。

大学内に常設されているゴミ箱の利用は禁止する。

8. その他

競技中に発生した障害、疾病についての応急処置は主催者側で行うが、それ以後の責任は負わない。ただし、2024年度公益社団法人日本学生陸上競技連合普通会員は、原則としてスポーツ安全保険に加入しているため、この保険が適用される場合がある。